２０２５年（令和７年）　１０月１０日　金曜日

東奥日報　１３面　掲載

新谷翔３ラン 光星快勝

第78回秋季東北地区高校野球大会は9日、盛岡市のきたぎんボールパークなど岩手県内2球場で開幕し、1、2回戦6試合を行った。県勢は八戸学院光星（第1代表）が2本の本塁打を放って関学院（岩手第2代表）に5－1で勝利し、12日の準々決勝に駒を進めた。青森山田（第3代表）は盛岡中央（岩手第3代表）に4－6で敗れた。第2日の10日は岩手県内2球場で2回戦4試合を実施。県勢は八工大一（第2代表）が明桜（秋田第1代表）との初戦に臨む。

（佐藤正悟、棟方好華）

第78回 秋季東北 高校野球 第1日

県勢きょうの試合

（左のチームが一塁側）

◇花巻球場

▷２回戦

明　桜―八工大一（12・30）

【一関学院―八学光星】7回裏、八学光星1死一、三塁、新谷翔が右中間に3点本塁打を放ち4－0と引き離す＝花巻球場

▽2回戦（花巻球場）

関学院（岩手）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1				1
八学光星	0	0	0	0	1	0	0	3	1	×					5				

（一）高橋、石澤、三浦―八嶋

（八）北口―鈴木

▽本塁打　新谷翔（八）、佐々木

【評】八学光星が快勝

読み的中 直球強振

新谷翔

思うように点を奪えない緊迫した状況が続く中、八学光星の3番新谷翔の豪快な3点本塁打が勝利をたぐり寄せた。高校通算12本目のアーチに「試合を決定づけるような本塁打を初めて打った。うれしくて、テンションが上がっている」と顔をほころばせた。

初回から好投を続けるエース北口の姿が力となった。五回2死一、二塁の得点機に二ゴロに倒れ、「北口が頑張っている分、自分も打撃で貢献したい」と奮起した。

七回、1死一、三塁の好機で再び打席が回ってきたところで相手エースが登板した。新谷翔は、代わりばなの初球を積極的に振るも、直球に詰まってファウルに。「次は内角の直球しかない」。読み通りだった2球目を強振し、右中間席に放り込んだ。スタンドからの大歓声を浴びながら笑顔でダイヤモンドを一周し、次を打つ北口とタッチを交わした。

チームの目標は来春の選抜高校野球大会と、今大会の優勝校のみが権利を得る明治神宮大会への出場。「低く強い打球を心がけ、3番打者としてしっかりチャンスをものにしたい」と決意を語った。

（棟方好華）

で1死一、三塁とし、新谷翔の3点本塁打でリードを広げた。八回には佐々木が左翼にダメ押しのソロ本塁打を放った。

投げてはエース北口が8三振を奪い、被安打5、1失点で完投した。無失策の守備も光った。

【一関学院】

	打	安	点	振	球
⑧島山	①	3	0	0	0
⑦鈴木	②	0	0	0	0
⑤早坂	②	0	0	1	0
③村井	②	3	1	0	0
④佐藤	②	4	0	0	0
②本菅	②	3	0	0	0
⑥八幡	②	3	0	0	0
①大花	②	2	0	0	0
1B知田	②	1	0	0	0
1B矢橋	②	1	1	0	0
1B村澤	②	0	0	0	0
1B大浦	②	1	0	0	0
1B高橋	②	0	0	0	0
1B石田	②	1	1	0	0
1B三浦	②	0	0	0	0
捕盛	0	1	1	8	1
投石三	回	29	5	1	8
手橋	4	1	1	3	1
橋澤	1	⅔	⅔	1	2
浦	3	⅔	⅔	2	2

【八学光星】

	打	安	点	振	球
③菅沼	①	3	0	0	0
⑥長野	②	2	1	1	0
⑨新谷翔	②	4	1	0	1
④北口	②	3	1	0	1
⑦新谷	②	3	0	0	1
8仲里	②	2	0	0	0
7小林	①	0	0	1	0
④西村	①	4	0	0	1
佐	②	0	1	1	0
佐々木	②	1	1	0	0

東奥日報社提供

この画像は当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです